

令和5年5月2日(火)

朝霞市立朝霞第三中学校

令和5年度 学校運営協議会

次 第

【司会：教頭 記録：主幹】

- 1 開会のことば
- 2 学校長あいさつ
- 3 任命状交付
- 4 自己紹介
- 5 協議内容
 - (1) 令和5年度 学校経営の構想について
 - (2) 令和5年度 学校経営の方針について
 - (3) 令和5年度 朝霞市立朝霞第三中学校グランドデザインについて
 - (4) 令和5年度 学校長による自己評価シートについて
 - (5) その他
- 6 連絡
 - (1) 第2回学校運営協議会 日程について
 - (2) その他
- 7 閉会のことば

1 はじめに

「令和の日本型学校教育」として「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」が求められています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、GIGAスクール構想が急速に進展しました。この2つ流れや学習指導要領の趣旨を踏まえて日々の授業実践では、「主体的・対話的で深い学び」の実現、タブレット端末等のICT機器の効果的な活用と充実、指導内容・指導方法の工夫改善を継続し、社会の変化に主体的に対応できる逞しい人間を育成しなければなりません。

保護者や地域の願いは、①社会の変化に主体的に対応できる能力の育成（学力の向上）、②社会生活に必要な人間的資質の育成、③困難な状況でも粘り強く頑張り抜ける逞しい心身の育成です。保護者・地域の願いを実現し信頼関係を高めていくためには、伝統の継承と令和の教育改革の融合が重要です。

感染症対策は大きく軌道修正されましたが、問題がなくなったわけではありません。感染状況を適切に判断しつつ、教育活動の質と量の均衡をとることも必要です。生徒の成長や変容を実感させる教育活動を実現するために、全教職員の英知を集結して実効的な教育課程（教育計画）を実施しましょう。教育活動は可能な限り公開して、保護者・地域に情報を発信します。

学校教育の中核は授業です。各教科・領域の特性を活かして「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をバランス良く育むことが学校の責務です（**授業での「人づくり」**）。日々の授業の積み上げが、学力などの資質・能力の向上に直結します。「**授業は50分1本勝負**」を常に念頭に置き、学習のねらいを明確にして、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」を高めましょう。

2 学校教育目標

| | | |
|--------------------------|---|---------------|
| 真理を求め、進んで学習する生徒 | } | 目指す生徒像 |
| 自ら考え、責任を持って行動する生徒 | | |
| 心身ともにたくましい生徒 | | |

3 目指す生徒像・学校像・教師像

- (1) 目指す生徒像 学校教育目標に掲げる生徒
(2) 目指す学校像 **一人一人が輝き 感動と笑顔あふれる学校**

<学校経営方針>

- ・学校教育目標、目指す学校像を実現するために、教職員が組織的に教育活動を実施する。
- ・授業、行事、係・委員会活動、部活動等の学校生活で輝くことができる場が多い学校にする。
- ・わかった感動、できた感動、心が1つにまとまった時の感動、体験よる感動（音楽や合唱、芸術作品など）、部活動での感動など、教育活動を通して感動の多い学校にする。
- ・笑顔で挨拶をする、笑顔で楽しく安心して過ごす、笑顔で夢を語れる学校にする。

(3) 目指す教師像

生徒・保護者・地域から信頼される教師

「**教育は人なり**」です。生徒に寄り添い教育的愛情を注ぐ教員、感謝される教員でありたい。

- ◎ 授業に情熱を注ぎ、**楽しい授業**を実践する教師
 - ※ 楽しい授業とは…「**わかる・できる**」を実感する授業、「**刺激**」のある授業、生徒が主体的の授業(体験・対話・協調・追究)
 - ※ 授業の要点…「**主体的・対話的で深い学び**」
個別最適な学び (タブレット端末等の効果的な活用)
個に応じた指導 (**指導の個別化と学習の個性化**)
- ◎ 生徒に寄り添い、きめ細かな指導ができる教師 (※学習指導は「積極的な生徒指導」)
- ◎ 人間的な魅力にあふれ、自己研鑽し続ける教師
- **働き方改革**による心身ともに健康で逞しい教師
- 教育公務員として、自覚と誇りを持つ教師 (**教職員事故の絶無**)

4 今年度の重点目標

(1)学習指導の充実と学力の向上

- ◎ 学習指導要領の着実な実施
 - ・ **楽しい授業 (わかる・できる・刺激)** の実践
 - ・ 「**主体的・対話的で深い学び**」を実現する授業
 - ・ **個別最適な学び**
 - ①タブレット端末等の効果的な活用
 - ②指導の個別化と学習の個性化
 - ③全ての生徒の可能性を引き出し、伸ばす指導
 - ・ 朝三中生の学びを支える「**授業の5ヶ条**」の構築

| | |
|-----|---------------------|
| 第1条 | 学習のめあてと、見通しを明らかにする |
| 第2条 | 生徒が自分で考える時間を設ける |
| 第3条 | 生徒が表現し、交流する場を設ける |
| 第4条 | 学んだことを活用する場を設ける |
| 第5条 | 学習のまとめと、振り返りの時間を設ける |
- ◎ 授業規律の徹底
 - ・ 「時を守り 場を清め 礼を尽くす」
- ◎ 校内研修の充実と指導力の向上

(2)学年・学級経営と生徒指導・教育相談の充実

- ◎ 生徒の特性を理解し、良さを生かした学年・学級経営 (自己有用感の醸成)
- ◎ いじめ、不登校、問題行動の予防・早期発見・早期解決
- ◎ 組織 (チームワーク・フットワーク・ネットワーク) を生かした迅速で丁寧な生徒指導
 - ・ 報告・連絡・相談・見届けの徹底と組織的な対応
 - ・ 教育委員会、警察、児童相談所等の関係機関との連携
- ◎ 保護者との連携による生徒指導の徹底
 - ・ 迅速で適確な初期対応

(3)道徳教育・人権教育の充実

- ◎ 道徳的な心情、判断力、態度を育成する道徳授業の実践
 - ・道徳的価値の自覚及び自己の生き方について考えを深める授業
 - ・「考え、議論する道徳」の実践と共感的な態度の育成
- ◎ 人権意識の醸成と他人を思いやる豊かな人間性の育成
 - ・いじめの防止・早期発見・迅速な対応・問題解消の見届け

(4)体力向上と健康増進

- ◎ 体育授業・体育的活動の工夫と充実
- ◎ 保健指導の充実と新型コロナ等の感染症予防の徹底
- 食育・給食指導の充実

(5)進路指導・キャリア教育の充実

- ◎ 望ましい勤労観、職業観の育成
- ◎ 主体的な進路選択と希望する進路の実現

(6)特別支援教育の充実と配慮を要する生徒の支援

- ◎ 特別支援学級の尊重と交流授業の推進
- ◎ 通常学級における配慮が必要な生徒への支援
- 関係諸機関との連携（朝霞市、大学、医療機関など）

(7)学校・家庭・地域が一体となった教育の実施

- ◎ 地域とともにある学校(コミュニティスクール)の充実
- P T A や学校応援団等との連携
- 地域教育力の活用
- 学校公開、学級懇談会、各種たより、学校メール、ホームページによる情報の発信

(8)働き方改革の推進と教職員の健康維持

- ◎ 「時間外在校時間 月45時間以下年間360時間以下」（県教委 R6年度目標）を目指す
- ◎ 午後8時までの退勤と施錠の徹底

【令和5年度 勤務時間の割り振り(案)】

- (1) 勤務開始 8 : 2 0 勤務終了 1 6 : 5 0 7時間45分勤務
- (2) 休憩時間 担 任 : 1 3 : 2 5 ~ 1 3 : 4 5 (20分)
- 副担任 : 1 3 : 0 0 ~ 1 3 : 2 0 (20分)
- 全 員 : 1 6 : 1 0 ~ 1 6 : 3 5 (25分) 合計45分

※長期休業中 勤務開始 8 : 3 0 勤務終了 1 7 : 0 0
 休憩時間 1 2 : 1 5 ~ 1 3 : 0 0 (45分間)

令和5年度 朝霞第三中学校のスタートに向けて

朝霞市立朝霞第七小学校

校長 嶋 徹

**校内の報・連・相を大事に!!
明るく楽しい職場を!!**

1 事故を防止し、信頼される学校を築くために

(1) 教育公務員としての自覚と責任

- 全体の奉仕者、憲法・法令等の遵守（コンプライアンス）
- 生徒の手本として留意を（挨拶・服装・態度・言葉遣い等）
- 外来者への対応や電話対応にも丁寧に心づかいを

※ ☎：「はい、朝霞第三中学校 （名前）です。」

(2) 安定した教育課程の「質」と「量」の確保

- 年間指導計画に基づいた指導
- 学年・教科・分掌内での情報交換を密に
- 授業内容や指導方法、評価結果は説明責任を果たす

(3) 信用失墜行為を絶対に起こさない決意

- 体罰や不適切な言動（言葉の暴力）・セクハラ・飲酒運転などの非違行為の絶無
- 自らを守り、家族を守り、同僚・学校の信用を守る

(4) うっかりミスや不注意による事故防止

- 交通事故、盗難、紛失等は自己管理の徹底を
- 個人情報保護の徹底を
- 外部に発出する文書は複数で確認を（必ず起案すること）
- お互いに注意し合える温かい人間関係の醸成を

「えっ?」、「あれっ?」、「ちょっと…?」は危険信号

(5) 安全確保のための条件整備

- 安全点検と速やかな組織的対応
- 安全教育・防犯教育の充実
- 登下校の安全指導

2 お互いに気持ちよく勤務し、規律ある職場環境とするために

(1) 職員同士も率先して元気な挨拶を

- 気持ちよい挨拶は相互理解のはじまり

(2) 職員室は職員の執務室のため、声の大きさはほどほどに

- 電話中や考えごとをしている職員もいるので、周囲への配慮を

- 必要なコミュニケーションは大事、無駄話は時間外勤務の一因となる
- (3) 職集・職員会議・学年会議はポイントを絞って簡潔に
 - 限られた時間をできるだけ有効に
- (4) 施設設備・備品の故障等は早めに連絡を
 - 教頭・事務職員・安全担当等との連携
- (5) 気軽に話し合え、支え合える人間関係
 - 一人で悩みや問題を抱え込まずに相談を
 - 職員の豊富な経験やアドバイスを相互に伝え合う
 - 効率的な職務遂行を行うために、協働の意識を持つ

< 「信頼」を構築するために >

(1) 生徒から「信頼」される教師)

- 人を育て、教える厳しさと温かさのある教師
- 自己の使命を自覚し、研究と修養に努める教師
- 豊かな人間性を持ち、生徒とともに歩む教師

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 凡庸な教師は、ただしゃべる ・ よい教師は説明する ・ 優れた教師は行動する ・ 偉大な教師は、心に火をつける |
|--|

ウィリアム・アーサー・ウォード

(2) 保護者から「信頼」される教育 (再掲)

- 社会の変化に主体的に対応できる能力の育成 (学力の定着と向上)
- 社会生活に必要な人間的資質の育成
- 困難な状況でも粘り強く頑張り抜ける逞しい心身の育成

(3) 地域から「信頼」される学校

- 元気に挨拶ができる明るい学校
- 地域とともにある学校 (コミュニティスクール)

3 働き方改革の推進

(1) 学校改革 (学校業務・学年業務・分掌業務)

※ **午後8時までの退勤・施錠の徹底**

(2) 自分改革 (教科指導・学級経営・その他)

※ 仕事の取捨選択と費用対効果の考察

※ 勤務時間の自己管理 (**時間外在校時間 月45時間未満、年間360時間未満**)

※ 先生方にとっても今しかできないことがある (プライベートも大切に!)

令和5年度 朝霞市立朝霞第三中学校グランドデザイン

埼玉県教育振興基本計画基本理念 ー豊かな学びで 未来を拓く埼玉教育ー

令和5年度朝霞市教育委員会重点施策

基本理念 ～心豊かに 生きる力をはぐくむ 朝霞の教育～

- I 新職の次代担う人材の育成
- II 豊かな学力と自立する力の育成
- III 質の高い教育を支える教育環境の整備充実
- IV 学校を核とした家庭・地域との連携・協働の推進
- V 生涯学習活動の推進
- VI 学びを支える環境の充実
- VII スポーツレクリエーション活動の推進
- VIII 利用しやすい施設の提供
- IX 歴史や伝統の保護・活用
- X 芸術文化の振興

地域の願い
地域の思い

学校教育目標

- ・ 真理を求め、進んで学習する生徒
- ・ 自ら考え、責任を持って行動する生徒
- ・ 心身ともにたくましい生徒

目指す学校像

一人一人が輝き 感動と笑顔あふれる学校



《教師の基本姿勢》

生徒のよさを「認め、ほめ、励まし、伸ばす」



校章

校章の蜂は、本校のシンボルです。「蜂のように勤勉に、他の生物をおびやかすことなく平和に、他人のために、社会のために働く。このような人間を育

[目指す教師像]

- 1 授業に情熱を注ぎ、楽しい授業を実践する教師 (わかる・できる・刺激)
- 2 生徒に寄り添い、きめ細かな指導ができる教師
- 3 人間的な魅力にあふれ、自己研鑽し続ける教師
- 4 働き方改革を推進し、心身ともに健康で逞しい教師
- 5 教育公務員として、自覚と誇りを持つ教師

主体的・対話的な授業



学力向上 「真理を求め進んで学習する生徒」

- 1 確かな学力の定着
生徒一人一人を伸ばす指導方法を工夫する 「授業の5か条」の活用
- 2 学習指導の徹底
今、学んでいることが自分の将来にどう結びつくのか、学習のねらいをはっきりさせ、しっかり学ばせる
- 3 よりよい学習の定着
自ら進んで学習に取り組む態度を育てる
- 4 ユニバーサルデザインの視点を生かした学校づくり
特別な支援や配慮を要する生徒への理解を深め、一人一人を大切に育む学習環境を整える

ICTを活用した授業



環境・美化活動



自立心 「自ら考え、責任を持って行動する生徒」

- 1 自主自立の態度の育成
自治の力を高め、自分達でより良い集団を形成しようとする力を育成する
- 2 生活規範の確立
社会的な資質を育むための基礎基本ともいえる「学校生活規範」を確かなものにする
- 3 豊かな心の育成
いろいろな人とかかわる中で、自己肯定感を高めながら、他者への思いやりの心を育てる

生徒主体の活動(三送会)



地域振興 彩夏祭「三中ソーラン」



体力向上・健康 「心身ともにたくましい生徒」

- 1 体力の向上
授業や部活動等の諸活動を通して、生徒一人一人の体力向上に努める
- 2 健康的な生活習慣の育成
生活のリズム(早寝・早起き・朝ごはん)を身につけ、より健康的に生活しようとする態度を育成する

三中校区ふれあい推進



体育大会



朝霞市立朝霞第三中学校

〒351-0023 朝霞市溝沼1043-1

www.asakadai3chu.city-asaka.ed.jp

TEL 048-464-7575

職員研修会の様子



防災教育(避難訓練の様子)



三中ファームの様子



